

ログハウス仮設住宅が持つ性能

7

■地震・被害規模広域の為に起きた資材不足への対応

震災前からの建設業界の事情としてグラスウール等の断熱材の不足、震災後の合板等の生産量の減少による価格高騰など



全国市場の流通製品に頼らない、地場材を生かした工法への取り組みが求められる



ログハウス仮設住宅のログ材は福島県産材の中でもいわき地区の材料が多数を占めている

8

■ログハウスの施工手順が生む効率と、解体までの可能性



二本松市大平農村広場



本宮市恵向公園

ログハウス仮設住宅は再利用率が他の木造仮設住宅に比べると高いものとなっている

■ログハウスが持つ自然な断熱性能



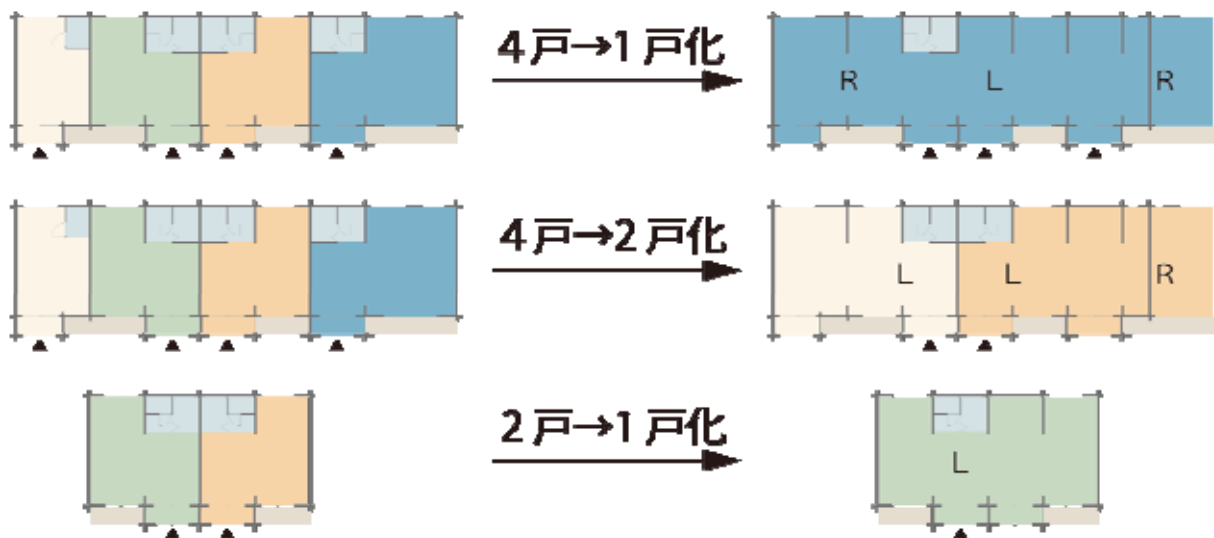
現在の次世代省エネ基準等の仕様と比べると70%を満たすものであるが、現実生活する上での性能は満たして、素材そのものの利点を活かした建築材料のひとつである

木造仮設住宅が目指すもの

15

■復興住宅までの足取り

資料作成：日本ログハウス協会
+ はりゅうウッドスタジオ
+ 日本大学工学部建築学科都市計画研究室



ログハウスのシンプルな間取りを生かし仮設住宅から復興住宅へ

16

■避難住民にもたらす安らぎとは

設計/監理計画：日本ログハウス協会
+ はりゅうウッドスタジオ
+ 日本大学工学部建築学科通称研究室

本宮市恵向公園 - ロハス集会施設 -



二本松市杉田農村広場 - 菜園 -



本宮市恵向公園 - 既存通路活かした配置 -



伊達市東グラウンド - 既存樹木を活かす -

